



TPP = T(とっても)P(プーアな = 貧しい)P(ポリシー = 政策)

TPPの本来の意味は「Trans-Pacific Partnership = 太平洋間戦略経済連携協定」であり、加盟国間の関税を100%撤廃しようという物。

これに日本が加盟すれば、日本の工業製品は関税ゼロで輸出しやすくなる。一方、農産物は関税ゼロで輸入が増える。農産物輸入商社は儲かるが、農水省によれば、食糧自給率は40%から14%と、現状の1/3になり、農村は壊滅。

天候不順で農産物が不作の時、TPP加盟国も先ず輸出を減らす。そうなったら日本はパニックだ。先日のレアメタルの日本向け輸出減の大騒ぎを思い起こそう。

都市労働者は輸入農産物の値段が下がって・・と喜んでばかりも居られない。農薬などの安全の問題もある。食糧自給率が今の3分の1になれば、農民の3分の2は流浪の民となり、農村購買力は激減。故郷は無くなる。

工業製品の輸出が増えれば円高は進む。それでも輸出する為のコストダウンで賃金が下げられ、日本の購買力は更に下がる。

TPPで一時的に大企業は大儲けするだろうが、日本経済は崩壊だ。TPPは止めるべきと思いますが、皆さんはどう思われますか？



イタリア山 外交官の家

J R 石川町駅南口から坂を登ると、この家に着く。明治の初期イタリア領事館があったので、「イタリア山」と云われる。横浜の他の西洋館は外国人の家であったが、これはアメリカ人設計の日本人外交官の家。他所から移築された。イタリア式の庭園が美しい。建物付属の喫茶室で「コーヒーを呑みながら、みなとみらい」や港を眺めてはいかががでしようか。

このイタリア山から丘の上を東に歩くと、いくつかの西洋館があり、外人墓地や港の見える丘公園に達する。